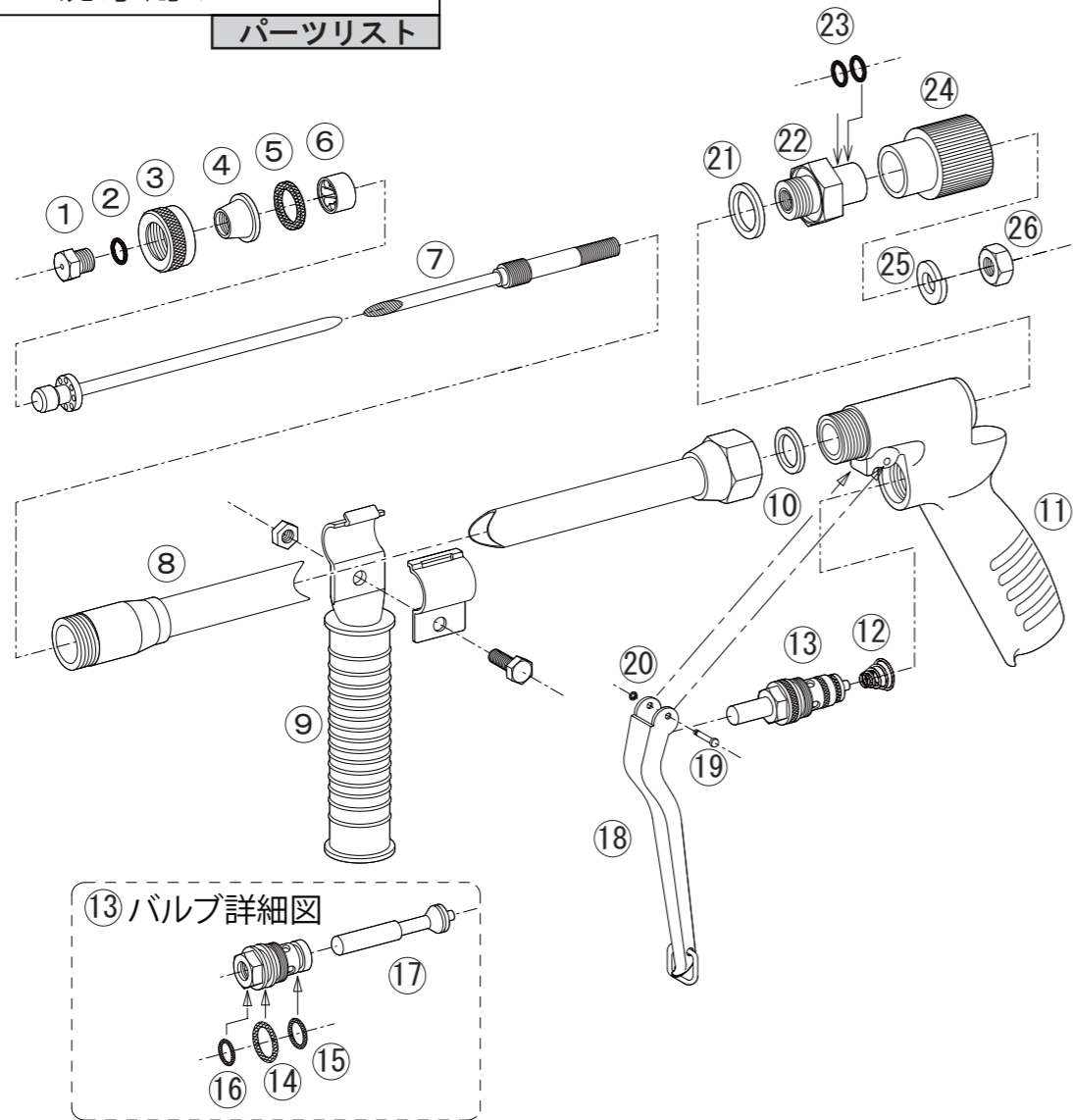


洗浄用ライフル

パーツリスト



No.	コード番号	部品名称	個数	備考	No.	コード番号	部品名称	個数	備考
1-2	1102801	噴口	1	穴径…φ2.0 Oリング付	14	3101000	Oリング	1	P-14
2	3100300	Oリング	1	P-7	15	3100600	Oリング	1	P-10
3	1102804	キャップ	1		16	3100400	Oリング	1	P-8
4	1102802	噴口本体	1		17	1102814	バルブ軸(完)	1	シート付
5	1102803	パッキン	1		18	1102808	レバー(完)	1	カン付
6	1102816	拡散用中子	1		19	1102809	レバー止めピン	1	
7	1102806	中芯	1		20	1102810	Eリング	1	φ2.3
8-10	1102817	本体パイプ(完)	1	パッキン付	21	1102822	グランド用パッキン	1	
9	1102805	中間グリップ一式	1	ボルト、ナット付	21~23	1102823	グランド(完)	1	Oリング、パッキン付
10	1102818	パイプ元パッキン	1		23	3100400	Oリング	2	P-8
11	1102807	胴本体	1		24	1102815	調整用握り	1	
12	1102821	バルブ用スプリング	1		25	1102819	M8 Sワッシャー	1	
13	1102824	バルブ(完)	1	シート付	26	1102820	M8ナット	1	

弊社ホームページでも検索できます。

スプレーノズルのバイオニア永田製作所 で検索し **パーツリスト** をご覧ください。

1129500-001



! ご使用前に必ずお読みください

取扱説明書

洗浄用ライフル

最高使用圧力3.5MPa

! 安全に防除作業をしていただくために

この度は当社製洗浄ライフルをお買い上げいただきありがとうございます。
安全で快適な防除作業を行っていただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。この取扱説明書では安全な作業をするため、守っていただきたいポイントに!のマークを表示し説明しておりますのでよくご理解いただき、事故のない安全な防除作業をしてください。なお、本書はいつでも内容が確認できるように大切に保管してください。

機能操作の説明

- (1) 洗浄ライフルをホースに取り付ける際は、シールテープ、ねじシール剤またはパッキンで漏水のないようしっかり工具で締め付けてください。
- (2) 洗浄用ライフルのガン本体はレバーを手前に引くとバルブが開いて高压水が噴射し、止める時はレバーを戻すと噴射がストップします。
- (3) スプレーパターンをストレートに設定し、高所・遠方・洗浄に使用する場合に本体パイプと噴口が一直線になり、対象物を的確にとらえる事ができると共に直進性に優れ、遠方への到達性、洗浄効果も抜群です。
- (4) 調節用手元つまみを右に締め込んでいくと直射から噴霧に変化し、左に回しますと噴霧から直射に変化する構造になっています。
- (5) 噴霧作業が安定するように、中間握りを握ってご使用ください。
- (6) ご使用後は必ず高压水を流し出し、バルブを開いた状態で換気のよい屋内に保管してください。

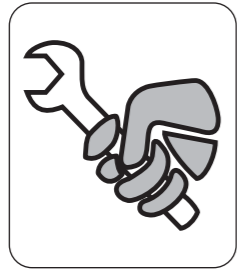


スプレーノズルのバイオニア

株式会社永田製作所

<http://www.nagataseisakusyo.co.jp>

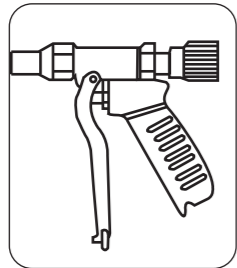
注意



- ⚠(1) 毎回作業前にはホース取付部及びノズル各部ねじのゆるみまたは、損傷異常箇所がないか点検のこと。

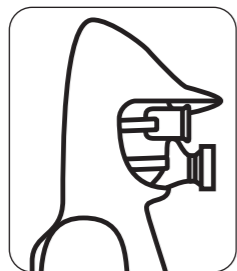
安全を期すためホース接続部の取付けねじ及びノズル本体各部ねじの締め付けに異常がないか工具で点検し、ゆるんでいる場合は完全に締め付けてからご使用ください。

あせて各部に損傷がないか、操作機能に異常がないか確認し、もしも異常があった場合は、お求めの販売店で完全に修理してください。不完全な状態のままご使用になりますと、高圧水が噴出し事故の原因になりますので十分注意してください。



- ⚠(2) 運転前には洗浄ライフルの止水バルブが完全に閉まっている状態かレバーの位置を確認すること。

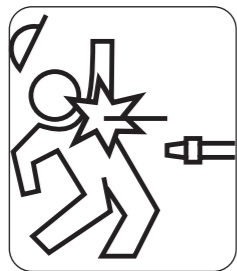
ポンプを運転する前には、本体のレバーが完全に閉まっている状態か必ず確認してください。バルブが開いた状態のままポンプを作動しますと、ノズルがついたままホースごと振り回され大変危険です。



- ⚠(3) 作業時は防水服・保護用具を必ず着用のこと。

洗浄作業では高圧水が噴射されますので、安全に作業をするため、身体に密着した防水服、防塵マスク、顔面保護ゴーグル、手袋、安全靴（又はゴム長靴）などを必ず着用してください。洗浄作業中には高圧水やはがれた泥、土砂、粉塵等が跳ね返り危険です。作業中は必ず全身を完全に防護し付近に人（特に子供）が立ち入らないようにしてから作業してください。

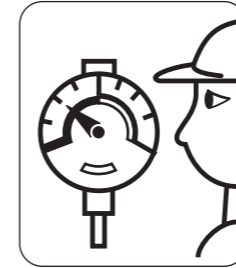
警告



- ⚠(1) 洗浄ライフルの先端はいかなる時でも絶対に人や動物及び危険物には向けないこと。

ポンプの作動時には、レバーの位置を確認し、洗浄ライフルを両手でしっかりと持ち、レバーを引く前にはもう一度周囲の安全を確認してから作業してください。レバーを引くと瞬時に高圧水が噴射し、人や動物に直接しますと大事故になることがあります。また、本体には相当の反動がありますので足元の不安定な場所、姿勢での作業は絶対にしないでください。

作業前点検準備



- ⚠(2) 指定圧力以上での使用は絶対しないこと。

洗浄ライフルの最高使用圧力以上で使用されますとシール部材やバルブシートが損傷又は破損し事故の原因となる恐れがあり大変危険です。もしも、ご不明な点が、ありましたら販売店までお問い合わせください。

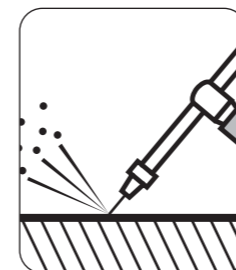
- ⚠(3) きれいな水以外は使用しないこと。

汚れた水、土砂、ゴミ等の混入した水、及び温水、スチームは使用しないでください。シール部の損傷、ノズルチップの早期摩耗及び目づまりによる故障または耐用期間の低下、熱による火傷等の原因になります。

- ⚠(4) ポンプの作動中は洗浄ノズルの補修、放置をしないこと。

チップの目づまり、バルブ部の異常、接続部の緩み、その他の補修は、必ずポンプを停止させたのちガン本体のバルブを開き残圧を抜いて、ホースから外してから行ってください。なお、ポンプ作動中はガンを放置しますと作業員以外の人が触ったり、又は機物等の接触により誤ってバルブが開き高圧水が噴霧する恐れがあり大変危険です。

注意



- ⚠(1) 作業終了後はノズルの残圧処理を行うこと。

作業終了後はポンプを停止しても、洗浄ライフル本体及びホース内には使用中の高圧水が残っています。必ず洗浄ライフルの先端を前方下に向け、人や危険物がないか確認した後にレバーを引いて圧力を抜いてください。

- ⚠(2) 作業後は速やかにノズル本体の洗浄を行うこと。

作業終了後洗浄ライフル本体を洗浄せずに長時間放置しておきますと他の箇所の故障の原因になりますので十分注意してください。



- ⚠(3) 運搬、保管、取扱上の注意をすること。

使用後は洗浄ライフル本体内の薬液を抜くためホースから外してください。運搬保管に際しては下積にしたり、投げたり引きずったり他の目的には使用しないでください。寒冷地・冬季等では残水のまま放置しますと凍結破損をおこす恐れがありますので十分注意してください。なお、洗浄ライフルは子供の手の届かない屋内にて保管してください。

作業開始及び使用中の厳守事項